



網走養護学校だより

令和5年度
第6号
(通229巻号)
3月4日発行

TEL 0152-48-2137

令和5年度もご理解とご協力に深く感謝申し上げます

校長 大泉 真哉

今年度は開校50周年を迎え、50周年記念運動会・学校祭、タイムカプセル埋設、そして50周年記念式典など、保護者・地域の皆様のご協力を得て、各活動や行事を実施することができましたことを深く感謝申し上げます。

子ども達、保護者・地域の皆さん、学校が一つになってつながり、50周年を迎えることができ、たいへんうれしく思っています。これまで築き上げてきたものを大切にしながら、新たな時代へ進んでいくこととなります。

また、今年度から学校運営協議会（コミュニティスクール）を設置し、保護者・地域の方、関係機関の方々と熟議をしてきました。来年度の本校の活動に運営協議会のご意見を取り入れながら、来年度の学校運営を進めていきたいと考えます。

令和5年度学校評価の結果から

保護者の皆さんには、本年度も学校評価アンケートにご協力いただき、感謝申し上げます。学校評価は今年度の教育活動や学校経営について評価し、学校としての組織的・継続的な改善につなげていくものです。

見やすさを意識し、学校運営協議会で示したものを掲載します。全体的な評価点の平均点は3.28、教職員の平均点は3.09、保護者の平均点は3.46で高い評価をいただきました。①②は評価の高かったもの（保護者評価、教職員評価）、③は評価の低かったもの（課題。食育については、保護者と教職員の間で認識のギャップがありました。）④⑤は項目ごとの課題と方向性を示しています。⑥は教職員の自由記述からピックアップし、即、改善に取り組みました。⑥の5.6.7行目については、職員会議、舎務会議で子どもの尊厳や人権を守る指導を徹底することを確認しました。

①本校の強み

(評価の高かったもの、保護者の評価より)

○学級費などの適切な説明(3.68)

○児童生徒理解、信頼関係(3.65)

○食育、食事の適切な指導(3.61)

②本校の強み

(評価の高かったもの、教職員の評価より)

○いじめ防止と適切な指導(3.30)

○自立活動の充実(3.27)

○体罰のない環境づくり(3.27)

③本校の課題

(評価が2点台、教職員の評価より)

2年連続

☑食育・食事の適切な指導(2.75)

3年連続

☑業務の効率化・時間外勤務縮減(2.85)

④食育、食事の指導

課題

- ☐献立の偏り、行事食等の提供機会が少ない
- ☐食育の推進のための工夫、連携が不足

方向性

【目的】児童生徒の心身の健全な発達・食に関する正しい理解と適切な判断

【部署】生活安全部（栄養教諭）を中心に

- 献立の改善。
- 各学級で行事食などの特色あるメニューが出たときに、料理や食文化などについて話す。
- 食育に関する掲示や授業の実施。

⑤時間外勤務縮減

課題

- ☐ 個別の指導計画等の添削による業務滞りとシステム見直しの必要性。
- ☐ 教諭の過重負担と管理職の業務推進の必要性。
- ☐ 業務量が多い、業務削減（業務改善）の難しさ。
- ☐ 業務の効率化に向けた取り組み方法の統一の困難さ。

方向性

【目的】業務の効率化と時間外勤務の縮減

【部署】各学部、寄宿舍、分掌単位でそれぞれ工夫をし、働き方を見直す

- 業務のスリム化（業務の精選、効率化、削減）
- 業務量の均一化

⑥ 緊急性が高く、即改善に取り組んだ項目(自由記述より)

- ☑地域への情報発信の仕方について、具体的に全校職員への明示。
- ☑危機管理マニュアルの存在・内容の周知
- ☑報告、連絡、相談の徹底・「基本の校内連絡体制」「事故対応チェックリスト」「個人情報に関わる配付物フローチャート」の活用
- ☑児童生徒を呼び捨てやあだ名で呼ぶこと。
- ☑児童生徒に対して厳しすぎると思われる指導。
- ☑児童生徒の手首を掴んで移動したり、動きを静止したりすること。
- ☑席を離れる際はパソコンを閉じる。

PTA 活動については、アフターコロナの中で誰もが参加しやすい活動を目指すために、現在3役で見直しを図っています。令和6年度の総会にて提案したいと考えています。

また、この学校評価を元に学校改善を図り、保護者・地域の皆さんと連携・協働し、子ども達が確かに育つ学校づくりを進めていきます。

なお、学校評価の詳細についてはHP にアップしますのでご覧ください

卒業制作の紹介

小学部卒業制作 宝箱

小学部6年生の卒業記念作品は、「宝箱」です。印のところで木を切るところから始め、ボンドを使用して宝箱の形にしました。色塗りの際は、それぞれカラフルに塗ったり、色を混ぜてから塗ったりと二人の個性が溢れる色合いになりました！電動ドライバーを初めて使用して、蝶番をつける作業を行いました。緊張しながらも、二人とも力の加減を調整しながら、上手に蝶番をつけることができました。初めて使う器具もありながら、一生懸命に制作活動に取り組んでいました！

1から作った宝箱に、これから色々な宝物を入れていったり、各ご家庭で使用したりしていただけたらと思っています。(文責：猪股)



中学部卒業制作 15年間のメモリアルスプーン

中学部の卒業制作として、自分と家族への木製デザートスプーンを制作しました。木材は5種類の中から自分で誰にどれを使うのかを決めました。主な作業として、けがきやすすり掛け、ニス・オイル塗りを行いました。家族の人数分を制作するため、作業量が多くありましたが、全員が黙々と集中しながら作業に取り組み、一週間ほどで完成させることができました。送る相手のことを思い、生まれて15年間の感謝の気持ちを込め、丁寧に仕上げています。

ぜひともご家族でアイスクリームなどを食べる際に使用していただければと思います。おいしさとともに思い出も味わうことができるかもしれません。(文責：武田)



高等部卒業制作 メモリアルフォトスタンド

思い出の写真を飾れる「メモリアルフォトスタンド」を制作しました。11月から制作を開始し、やすりがけや電動カンナがけ、オイル塗りなどを行いました。新たに糸ノコを使用しての切断やレーザー刻印などの作業も積極的に取り組みました。全10種類の工程を2人で協力しながらコツコツと頑張りました。2人とも完成を楽しみに、一生懸命集中して制作を行いました。完成時はとても言い表情で、嬉しそうに記念撮影をしました。卒業した後もメモリアルフォトスタンドを見て、社会人として頑張っていって欲しいです。(文責：久保田)



ホームページのアドレスと二次元コードを掲載します。
どうぞアクセスしてご覧ください。



<http://www.abashiriyougo.hokkaido-c.ed.jp>

編集後記

今号は、学校長挨拶および学校評価の結果と各学部の卒業制作についてお伝えしました。

令和5年度の学校だよりの発行も、今号が最終号です。

今年度も本校の教育活動にご協力頂き、心より感謝申し上げます。次年度もどうぞよろしくお願い致します。(文責：塩越)